

目的

各幼児教育施設・小学校の教職員が、保幼小連携に関わる講義や演習を通して、相互理解を深めるとともに、佐伯市における保幼小の円滑な接続の取組推進を図る。

内容

- ①発表「幼稚園と小学校をつなぐ」 佐伯市立渡町台幼稚園 森 美奈教諭、立本あゆみ教諭
- ②講義「子どもの育ちと学びをつなぐ」 佐伯市立渡町台小学校 武田文子 指導教諭
- ③講義・演習「幼児教育と小学校教育の連携と接続の推進について」～『架け橋プログラム』の実施に向けて～ 大分県教育庁幼児教育センター 武津智美 幼児教育スーパーバイザー
- ④「架け橋期における佐伯市の目指すこども像について」 佐伯市教育委員会学校教育課 山中真美 主幹

【佐伯市保幼小連携協議会がめざすもの】

- ①教職員と保育者がつながる
- ②カリキュラムがつながる
- ③子どもがつながる



←幼児期の経験を生かした
小学校1年生の授業づくり

幼児教育施設における
自立した子どもたちの姿→



発表 「幼稚園と小学校をつなぐ」 佐伯市立渡町台幼稚園

～子どもをつなぐ・職員をつなぐ・学びをつなぐ～

【研究内容】

- ①円滑な接続のための小学校との連携のあり方
- ②子どもの発達や学びの連続性を確保するために
どのようなことが必要か

【研究方法】

- ①「幼稚園・小学校連携シート」の作成
- ②互いの教育を理解するための合同研修会と
幼児の育ちや学びの見える化



「幼稚園・小学校連携シート」の作成



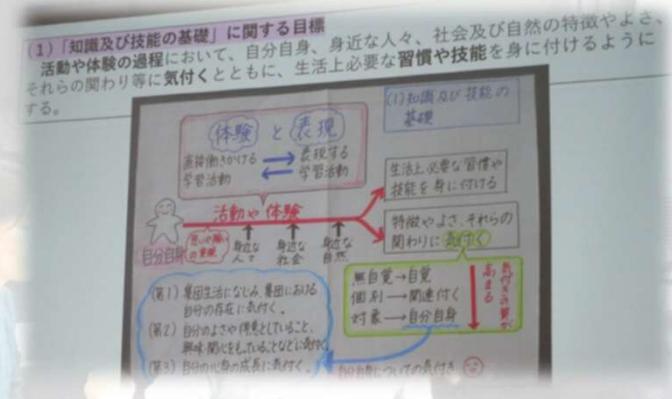
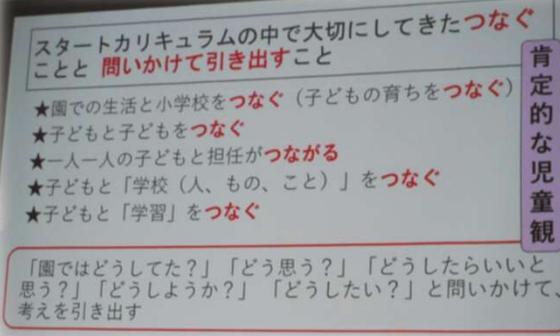
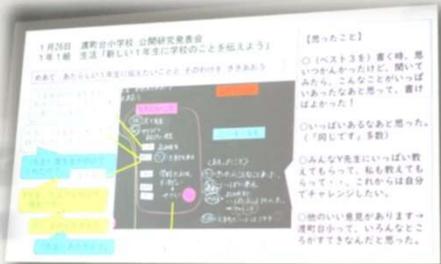
互いの教育を理解するための合同研修会

講義 「子どもの育ちと学びをつなぐ」 佐伯市立渡町台小学校

【生活科の学習とそこに見られる子どもの姿と教師の構え】

- 自分たちで**次の活動を創り出す**子ども
- **共感**しながら伝えたいことを話したり聴いたりする子ども
- **問いかけて引き出す**ことを大切にしてきた教師（1年部）

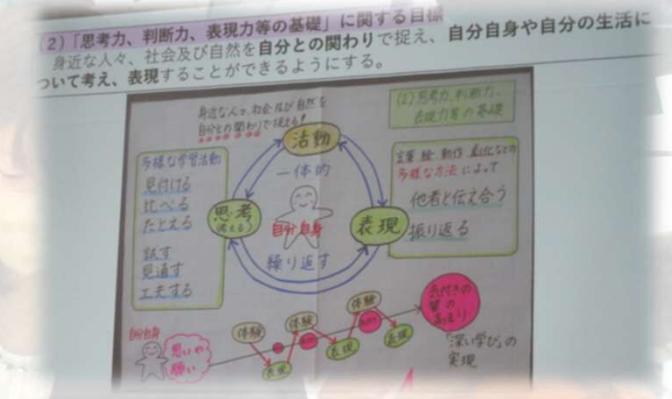
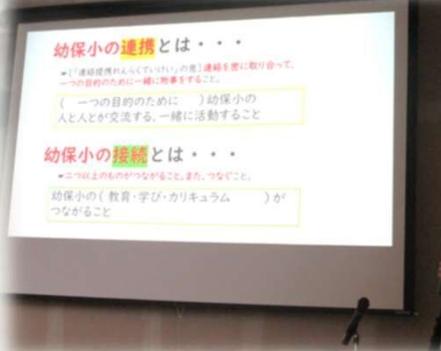
【低学年教育の要としての生活科】
～教科の目標→生活科の特質～



講義・演習 「幼児教育と小学校教育の連携と接続の推進について」
～『架け橋プログラム』の実施に向けて～

子どもを真ん中において

10の姿を手掛かりに、子どもの育ちと学びを見取る



- ◆ 子どもにかかわる大人が立場の違いを越えて自分事として連携・協働する
- ◆ すべての子どもに学びや生活の基盤を育めるようにする

